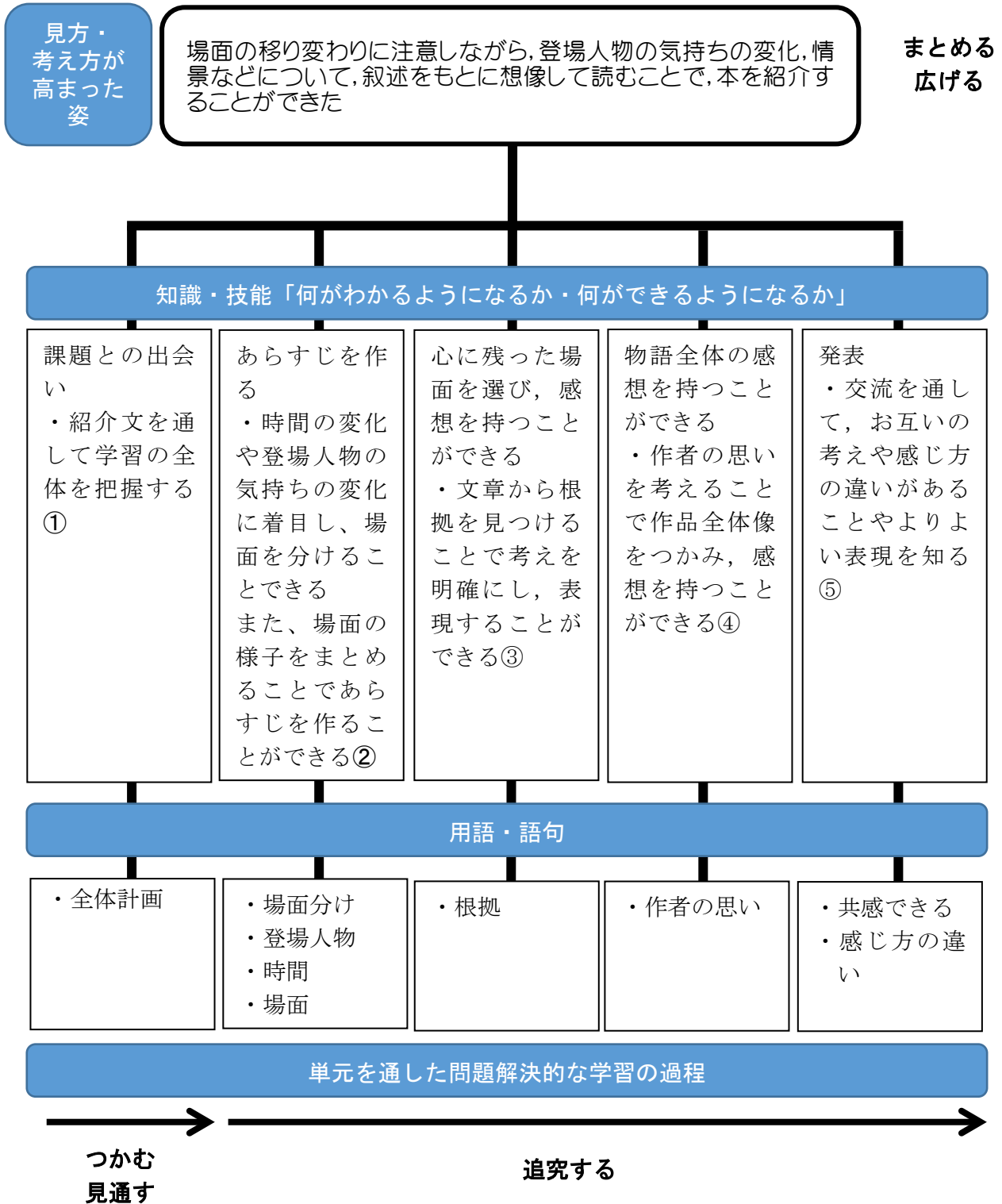


学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
4年	国語科	「一つの花」	4年1組42名	4年1組教室	小倉 英輔

**1 単元について**

**単元マップ**



## 本単元で育てたい資質・能力

### 【知識及び技能】

○様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにすること。

### 【思考力・判断力・表現力等】

○登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

### 【学びに向かう力等】

○言葉がもつよさに気付くとともに, 幅広く読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## 単元・題材について

(1) 目的に応じ, 内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに, 幅広く読書しようとする態度を育てる。

本単元では, 「いろいろな本に興味を持ち, 読めるようになろう」という学習課題を設定する。そこで「本の紹介をする」という活動を通して, 児童から読書に興味を持つとともに, 目標に迫ることができると考えた。紹介文作りでは, あらすじから段落相互の関係見つけたり, 筆者の伝えたいことから内容の中心をとらえたりできるようにする。また紹介文を書くにあたっては自分の考えの根拠となる文を本文から見つけることで, 考え方より明確にさせたい。

## 児童の実態

国語科の学習については, 物語の設定や登場人物の変容を読むことに苦手意識を持っている子は多い(教研式NRT「文学的な文章を読むこと」において, 全国平均が40.1%, 本校児童38.1%)。

4年生になって「白い帽子」を通して, 場面の様子や行動から登場人物の性格や気持ちを想像して, 人柄について話し合う学習ができた。また, 自分が感じたことの根拠を文章から探し, 話し合う学習をしている。多くの児童が物語を楽しんで読める一方で, 場面の様子を想像して疑問や感想をどう表現してよいか苦手にしている子もいる。そこで, 友達との交流を通して感じ方の違いに気づくとともに, よい表現方法を取り入れて紹介文を作り上げることで自信を持って表現する楽しさを感じさせたい。

## 単元の目標

場面の移り変わりに注意しながら, 登場人物の気持ちの変化, 情景などについて, 叙述をもとに想像して読み, 紹介することができる。

### 単元の指導について

自分の考えや思いを表現するために、人物の気持ちや場面の情景を想像しながらまとめる活動を取り入れる。交流して気づいたことを学習シートに書き込み、前時の学習を生かして自分の選んだ本の紹介文ができあがるようにすることで、次時の見通しを持たせるようにしたい。両親のゆみ子に対する思いや一つの花に込めた子を思う親の心情を想像させたい。

また、友達との紹介文の交流の中で、感じ方や考え方の違いがあることを実感させたい。紹介する内容が明確になるように、観点を整理し、作品に対する思いや感想の違いに気づかせたい。

### 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】	【読むこと】	【書くこと】	【言語事項】
①物語を読み、心に残ったことを基に、進んで内容を友達に紹介しようとしている。	①会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。 ②物語の紹介の仕方から、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている	①物語を読み、心に残ったことを基に書くことを決め、紹介するのに必要なことを選んで書いている ②強く心に残った言葉や紹介したいことを明確にして書いている。	①様子を表す言葉について考え、言葉を置き換えると印象が変わることに気付いている

### 子どもの深い学びの姿

作者が読者に伝えたい思いを物語の中から見つけ出し、そこから自分の感じたことを友達と共有しようとする子どもの姿。

2 単元の指導計画

【5時間扱い 本時1 / 5時間】

次	時	○おもな学習活動 ・具体的内容 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">まとめ</span>	教師の評価規準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
つかむ・見通す	①	<p>○教師が用意した作品を紹介しようという課題設定をし、学習計画を立てる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本を読んで感じたことをみんなに紹介しよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の作った紹介カードを見て単元の見通しをもつ</li> <li>・本に紹介するためにあらすじ、心に残った場面、自分の考えが必要であることを知り、観点を整理する。</li> <li>・平行読書に使用する本を選ぶ。</li> <li>・『一つの花』の範読を聞く。</li> <li>・初感想を書く</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>紹介カードを作るにはあらすじや心に残った場面などを書きこまれていることを知る。</p> </div>	<p>【関意態①】 紹介カードを見て、単元の見透しを立てる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>思考を活性化させるアクティブ化ポイント①</b> 子供たちの生活の中で本に触れる機会を考え、本の世界を広げる具体的な学習課題を子どもを共に立てる。</p> </div> <p>◇平和をテーマにした本を事前に選び、朝学習の時間等に読んでおく</p>
	②	<p>○物語のあらすじを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持の変化に着目しながら場面を分け、あらすじをつかむ。</li> <li>・場面の様子を要約し、全体のあらすじを作る</li> <li>・紹介カードにあらすじを書き込む</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>時、場所に着目して場面を分けてから、登場人物に心情を場面ごとに考えることであらすじの作り方を知る</p> </div>	<p>【読むこと】 場面の移り変わりをとらえて、分けることができる。 (発言・学習シート)</p> <p>◇時や場所、登場人物の会話に着目させ、話の流れをつかませる。</p>
追究する	③	<p>○選んだ作品のあらすじを考える。【平行読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を振り返り、あらすじの作り方を復習する</li> <li>・場面の变化、登場人物の気持の変化をとらえて分けることができる。</li> <li>・紹介カードにあらすじを書き込む</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分が選んだ物語のあらすじも前時の学習を生かして作ることができる</p> </div>	<p>【読むこと】 場面の移り変わりをとらえて、かけることができる</p> <p>◇時や場所、登場人物の会話に着目させ、話の流れをつかませる。</p>
	④	<p>○心に残った場面を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った場面を探し、自分がどう思ったかを説明する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文章から自分の考えを明らかにして心に残った場面を探すことができる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードに心に残った場面とその理由を書き込む</li> </ul>	<p>【読むこと】 登場人物の会話や状況から心情や世の中の状況をとらえている。 (発言・学習シート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>思考を活性化させるアクティブ化ポイント②</b> 自分が感じたことを認め合える伝え合いの場を設定する</p> </div>

	<p>○自分が選んだ本から心に残った場面を探す。 【平行読書】</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った場面を探し、理由を説明する。</li> </ul> <p>文章から自分の考えの根拠を明らかにして心に残った場面を探することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードに心に残った場面とその理由を書き込む</li> </ul>	
<p>本時</p>	<p>⑥</p> <p>○物語の感想を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者が伝えたいことについて考える。</li> <li>・どの描写からそう思ったのか文章を根拠に説明する</li> <li>・その描写から自分がどう思ったかを考える。</li> <li>・グループで考えたことを話し合う。</li> </ul> <p>作者の伝えたいことを考えることで、物語を深く読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードに感想を書く</li> </ul>	<p>【読むこと】</p> <p>一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。 (発言・学習シート)</p> <p><b>思考を活性化させるアクティブ化ポイント③</b> 平和について全体で確認し、一人一人がどう思ったのか伝え合う。</p>
<p>まとめる・広げる</p>	<p>物語の感想を考えよう【平行読書】</p> <p>○作者が伝えたいことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの描写からそう思ったのか文章を根拠に説明する</li> <li>・その描写から自分がどう思ったかを考える。</li> </ul> <p>⑦</p> <p>文章から自分の考えの根拠を明らかにして伝えることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ本を選んだグループで考えたことを話し合う。</li> <li>・紹介カードに考えを書く</li> </ul>	<p>【読むこと】</p> <p>一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。 (発言・学習シート)</p> <p><b>思考を活性化させるアクティブ化ポイント④</b> 他の学年に紹介することを想起させ、相手意識を持って取り組む</p>
	<p>○グループで紹介し合い、よかったところやお勧めしたい本を伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介を聞いてよかったところや気が付かなかったことを伝え合う</li> </ul> <p>⑧</p> <p>自分の紹介したい本を紹介し、お互いの感じ方や考え方に違いがあることを知る。</p> <p>場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことで、本を紹介することができた</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>相手に自分が選んだ物語を 紹介カードを使って紹介することができる</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>興味を持って相手の発表を聞き、感想を伝えることができる</p>

パフォーマンス・シート 「一つの花」

名前 \_\_\_\_\_

学習問題「本を読んで感じたことをみんなにしようかいしよう」

	②	④	⑥	⑧
学習内容	あらすじを作れるようになろう	心に残った場面を探そう	物語の感想を考えよう。	グループで紹介し合い、良かったところやお勧めしたい本を伝え合おう。
レベル4	自分が感じたことを加えたあらすじを紹介カードに書く	登場人物の気持ちに自分だったらどう思うか考えて、心に残った場面を紹介カードに書く	友達の考えを聞いて、平和について自分の考えとの違いや同じ所をどうおもうか感想にして紹介カードに書く	物語の紹介文を聞いて、よりよい伝え方を理由を付けて教えてあげることができる
レベル3	読む人が興味を持つ工夫を考えたあらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を友達との考えの同じ所や違いを見つけ、自分の考えをはっきりさせて紹介カードに書く。	平和について自分の考えを入れた感想を紹介カードに書く	友達の紹介文のよいところを見つけ、自分の紹介文をよりよく作り直すことができる
レベル2	場面を分けて、場面の中心となる文章を要約し、あらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を理由をはっきりさせて紹介カードに書く	作者の思いや伝えたいことを考え、物語の感想を紹介カードに書く。	友達の紹介文を聞いて、感じ方の違いや同じところを見つけて感想を伝えることができる
レベル1	場面を分けてあらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を抜き出し、紹介カードに書く	物語の自分の感想を紹介カードに書く	物語の紹介文を聞いて、よかったところを伝えることができる
記述				

### 3 本時の学習

作者の伝えたいことを読み取り，自分の感想に生かすことができるようにする。

【読むこと】

#### (2) 展開【8時間扱い6／8時間目】 \*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	児童の活動	思考	□教師の働きかけ ◆教師の評価（評価方法） * 思考を活性化させるアクティブ化ポイント
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。	全体	□前時まで取り組んできたことを想起させ，本時の学習の見通しを立てさせる。
	作者の伝えたいことを考え，物語の感想に生かそう。		
展開 30分	3 戦争について叙述を基に考える。 ・満足に食べられない ・はなればなれになる ・悲しい，悲さん，辛い 4 作者の伝えたいことについて考え，まとめる。 5 作者の伝えたいことをふまえて，自分の感想を考え，紹介カードに書く	全体    ペア   個人	□どの叙述からそのように考えたのか，根拠をもって話し合わせる。  <b>* 知識だけではなく，叙述を基にして戦争について考えることで，自分の考えを確かにする。</b>  □友達と交流して，自分の考えとの共通点や相違点に気付いたり，友達の考えの良さに気付いたりさせる。  <b>* 友達との交流をすることで，自分の考えを広げたり深めたりする。</b>  □作者の思いについて自分はどのように考えるか，を感想に入れさせる。  ◆作者の伝えたいことを読み取り，自分の感想に生かしている。 (紹介カード，発表)
終末 10分	6 学びを振り返る	全体	
	作者の伝えたいことを考えると，物語を深く読むことができるね。		
	7 次時の予告		

### (3) 評価

◇評価規準の具体（評価方法～ノート）

【読むこと】

十分に満足できる（AA）：作者の作品へ込めた思いと自分の戦争や平和への思いを結びつけながら感想を書き，相違点を見つけ，自分の意見をはっきりとさせて感想を書いている。

十分に満足できる（A）：作者の作品へ込めた思いと自分の戦争や平和への思いを結び付けながら，感想を書いている。

おおむね満足できる（B）：作者の作品へ込めた思いを生かして，感想を書いている。

努力を要する児童への指導：登場人物のセリフや行動に着目させる。

### (4) 板書計画

<p>一つの花</p> <p>作者の伝えたいことを考え、物語の感想に生かそう。</p>	<p>戦争</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・死</li><li>・食へ物がな</li><li>はなればなれ</li></ul>	<p>戦争をくり返してはいけない 平和な世の中であってほしい</p>	<p>戦争 いやだ 悲しい</p>	<p>平和への願い</p>
---	--	--	-----------------------	---------------



(5) 本時に使用する資料や学習シート

紹介カード 名前 ( )

○心に残った場面

---

---

---

---

---

---

---

---

○あらすじ

---

---

---

---

---

---

---

---

○感想・思ったこと

---

---

---

---

---

---

---

---